

研究課題名：

水俣病の病態に関する臨床研究—神経症候の客観的評価法の確立を中心に—（2024年3月26日承認）

研究の目的と方法：

脳磁計（MEG）を用いた中枢性感覚障害を客観的に評価する方法やMRIによる脳の詳細な形態学的解析や脳内の成分・ネットワークの解析方法が確立されれば、水俣病の病態解明に寄与するとともに、本法を用いた水俣病発生地域での検査を行うことでメチル水銀汚染の実態の解明が期待されます。また、経時的に水俣病患者の脳機能を客観的に評価することで、水俣病患者の健康管理やリハビリテーションの進め方等、水俣病患者にとってより良い環境作りを構築していく上で役立つことが期待されます。

まず、水俣市立総合医療センターに設置されているMEGで脳磁場を測定します。検査中は検査室におひとりですべて入っていただきますが、スピーカーを通して会話も可能です。検査に要する時間は2時間半程度です。MEG検査では、安静時の脳活動を記録するとともに、イヤホンで二種類の音を聞いていただいたり、手の運動や手指に電気刺激を受けていただいたりします。また、同じ日に脳MRI検査を水俣市立総合医療センターMRI室で実施し、MEG用の画像を取得するとともに脳の萎縮や脳内の成分・ネットワークなどを調べます。二つの検査結果によって脳の機能を調べます。検査の順番は前後逆になることがあります。結果は後日、個別にご説明します。

研究の対象者及び研究期間：

メチル水銀非汚染地域の健常高齢者（出来れば70歳以上）、メチル水銀中毒以外の神経疾患患者（中枢性感覚障害を呈する脳血管障害や多発性硬化症や運動失調を呈する脊髄小脳変性症など）、水俣市および八代海沿岸在住のメチル水銀中毒患者、クジラ多食地域である太地町住民のうち、研究への協力につき了解が得られた者を対象者です。いずれも年齢は50歳以上で、性別は問いません。研究期間は令和4年4月25日から令和8年3月31日です。

研究に使用する試料・情報：

参加者のMEG・MRIの解析データを用います。

共同研究機関及び各機関における研究責任者：

水俣市立総合医療センター（責任者：楠 真一郎）

福岡国際医療福祉大学（責任者：飛松省三）

熊本大学医学部 （責任者：平井俊範）
東京大学医学部 （責任者：阿部 修）
国立精神・神経医療研究センター （責任者：小居秀紀）

研究全体の管理責任者：

国立水俣病総合研究センター 臨床部 中村政明

お問い合わせ先：

〒867-0008 熊本県水俣市浜 4058-18
国立水俣病総合研究センター 庶務係
TEL 0966-63-3111 FAX 0966-63-1145